

# 國學院大學学術情報リポジトリ

## スタッフ紹介

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://k-rain.repo.nii.ac.jp/records/1876">https://k-rain.repo.nii.ac.jp/records/1876</a>

## スタッフ紹介

※ 氏名、現職、専門分野、担当研究事業、および2014年度の研究業績について紹介します。今年度新任のスタッフには、研究紹介および2013年度以前の研究業績についても掲載します。

**井上順孝** 所長・教授 宗教学、宗教社会学

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」

### [単行本]

- ・『21世紀の宗教研究 脳科学・進化生物学と宗教学の接点』（編著）平凡社、2014年8月。
- ・『宗教文化教育の教材開発』（編）國學院大學、2015年2月。

### [論文]

- ・“New Religious Movement in Global context”, Paul Hedge ed., *Controversies in Contemporary Religion: Education, Law, Politics, society, and Spirituality Volume 3: Specific Issues and Case Studies*, Praeger, 2014年。
- ・「宗教文化教育の教材としての映画」『國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所年報』7、2014年9月、26-57頁。
- ・「教祖論への認知宗教学的アプローチ—カリスマ論を一つの足場に—」『中央学術研究所紀要』43、2014年11月、15-36頁。
- ・「宗教がわかる映画ガイド（DVD・ブルーレイ）」渡邊直樹責任編集『宗教と現代がわかる本2015』平凡社、2015年3月、266-273頁。
- ・「宗教文化教育の素材としての日本映画」『國學院大學研究開発推進機構紀要』7、2015年3月、1-36頁。

### [口頭発表]

- ・「プロジェクト制度と共同研究」（テーマ・セッション「『宗教と社会』誌からみた「宗教と社会」学会の20年」）「宗教と社会」学会2014年度第22回学術大会、於天理大学、2014年6月。
- ・「コメント」（パネル「宗教多元時代における宗教間教育の実践とその課題」）日本宗教学会第73回学術大会、於同志社大学、2014年9月。
- ・（講演）「アレフ・ひかりの輪とオウム真理教—宗教社会学的考察—」公安調査庁、2014年7月。
- ・（講演）「宗教観—現代日本人にとっての宗教—」日本生産性本部主催、2014年11月。
- ・（テレビ出演）「日本人にとって神道とは」BSフジLIVE PRIME NEWS、2014年8月。

### [その他]

- ・（鼎談）「宗教、宗教団体によるマンガの特徴は何か？」（塚田穂高・藤井修平との鼎談）渡邊直樹責任編集『宗教と現代がわかる本2015』平凡社、2015年3月、142-155頁。
- ・「グローバル時代に欠かせない宗教文化への配慮」『THINK！』50、東洋経済新報社、2014年7月。
- ・「実態直視し、危険性判断（論点スペシャル）」『読売新聞』2015年3月20日付、2015年3月。
- ・「リテラシーの欠如なお進む（オピニオン「オウム真理教と現代」）」『中国新聞』2015年3月31日付他、2015年3月。
- ・「リトル・ブッダ」（「シネマ特別席」）『中外日報』、2014年4月。
- ・「刑事ジョン・ブック」（「シネマ特別席」）『中外日報』、2014年5月。
- ・「パラダイス・ナウ」（「シネマ特別席」）『中外日報』、2014年6月。
- ・「ブラディ・サンデー」（「シネマ特別席」）『中外日報』、2014年9月。
- ・「偽牧師」（「シネマ特別席」）『中外日報』、2014年10月。
- ・「ミラル」（「シネマ特別席」）『中外日報』、2015年2月。

- ・「A」(「シネマ特別席」)『中外日報』、2015年3月。

## 齊藤こずゑ 教授 教育心理学、発達心理学

担当研究事業「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」

### [口頭発表]

- ・(ポスター発表)「映像メディアによる発達表象と時代効果—公放送映像メディアの分析—」日本発達心理学会第26回大会、於東京大学、2015年3月。

### [その他]

- ・「子どもの権利と研究倫理～発達心理学の活躍の場(特集「今、研究倫理を問いなおす」)」『日本発達心理学会ニューズレター』74、2015年2月、1-2頁。

## 黒崎浩行 准教授 情報化と宗教、現代社会と神社神道

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」

### [口頭発表]

- ・「災害支援と記憶継承における情報ネットワークの役割と宗教」日本宗教学会第73回学術大会、於同志社大学、2014年9月。

### [その他]

- ・「福島県相馬市・南相馬市の神社と津波伝承に係る調査報告」平成24年度公益財団法人三菱財団人文科学助成金研究研究成果報告書(ID:24224)『延喜式内社を中心とした神社と自然災害伝承の宗教史的研究』(研究代表者・藤本頼生)、2014年9月、81-84頁。

## 平藤喜久子 准教授 神話学

担当研究事業「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」

### [単行本]

- ・『神社ってどんどころ?』ちくまプリマー新書、2015年2月。
- ・『よくわかる宗教学』(櫻井義秀と共編著)、ミネルヴェ書房、2015年3月。
- ・『縁結び神社ときらきら温泉』(神話監修、縁結び&温泉女子会著)、パルコ出版、2015年2月。

### [論文]

- ・「神話学の「発生」をめぐる一学説史という神話—」藤巻和宏・井田太郎編『近代学問の起源と編成』勉誠出版、2014年11月、133-150頁。
- ・“Deities in Japanese popular culture”, Klaus Antoni, David Weiß (Eds.) *Sources of Mythology*, Verlag der Österreichischen Akademie der Wissenschaften, pp.71-80, 2014.
- ・「多言語化される古事記」『古事記学』1、國學院大學研究開発推進機構、2015年2月、293-300頁(その他「補注解説」を執筆)。
- ・「ポップカルチャーにみる日本人と神—稲荷信仰を手がかりに—」伏見稲荷大社社務所編『朱』58、2015年3月、185-193頁。

### [口頭発表]

- ・“Japanese Deities in popular culture”, at The Tenth Annual Conference The Asian Studies Association of HONG KONG (ASAHK), 14, March, 2014.
- ・(講演)「神話学から見た日向神話」明治大学・宮崎県連携講座 神話の源流「みやざき」、於明治大学、2014年10月。

### [その他]

- ・(書評)「Kazuo Matsumura, *Mythical Thinkings: What Can We Learn from Comparative Mythology?*」『宗教研究』88-3、2014年12月、303-307頁。

ノルマン・ヘイヴンズ (HAVENS,Norman) 准教授 日本宗教史、日本の民間信仰  
担当研究事業「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」

松本久史 准教授 近世・近代の国学・神道史  
担当研究事業「[國學院大學 国学研究プラットフォーム]の展開—明治期の国学・神道関係人物を中心に—」

遠藤潤 准教授 宗教学・日本宗教史  
担当研究事業「[國學院大學 国学研究プラットフォーム]の展開—明治期の国学・神道関係人物を中心に—」  
[論文]

- ・「明治初期の北海道開拓と札幌神社の創建・展開」北海道神宮・國學院大學研究開発推進センター編『北海道神宮研究論叢』弘文堂、2014年10月、103-130頁。
- ・「平田国学と幽冥思想—近世神道における死の主題化—」島藺進・高埜利彦・林淳・若尾政希編『シリーズ 日本人と宗教 3 生と死』春秋社、2015年1月、143-168頁。

[口頭発表]

- ・(講演)「平田篤胤の学問と門人組織—再評価・新発見された史料による近年の研究状況—」國學院大學 教養講座たまプラーザキャンパス公開講座、2014年9月
- ・(講演)「平田篤胤の他界観について」神社本庁総合研究所主催第113回中堅神職研修(丙)、2014年9月。
- ・(講演)「神道思想史Ⅱ」神社本庁総合研究所主催第89回明階基礎研修(乙)、2014年10月。

星野靖二 准教授 宗教学

担当研究事業「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」

[論文]

- ・「明治国家とキリスト教」島藺進・高埜利彦・林淳・若尾政希編『シリーズ 日本人と宗教 1 将軍と天皇』春秋社、2014年9月、237-267頁。
- ・「熊本時代の中西牛郎—その活動と論説の検討—」『駒沢大学文化』33、2015年3月、61-90頁。

[口頭発表]

- ・(コメント)「佐藤厚氏の発表「井上円了のキリスト教批判—近代日本の仏基論争における位置—」に対するコメント」第3回日・韓・中国際仏教学術大会、於東洋大学、2014年6月。
- ・「ハーバード大学時代の岸本能武太と小崎成章について」日本宗教学会第73回学術大会、於同志社大学、2014年9月。
- ・「小崎成章のキリスト教・日本宗教論」キリスト教史学会第65回大会、於同志社大学、2014年9月。
- ・(ワークショップ) "Workshop: The Invention of 'Religion' in Modern Japan," with Jason Ananda Josephson, at the Santander International Summer School: "What is Caesar's, what is God's?", held at Kyoto University, 2015.3.16.

[その他]

- ・(書評)「オリオン・クラウタウ『近代日本思想としての仏教史学』」『近代仏教』21、2014年8月、176-182頁。
- ・(報告)「ボーダリング・ザ・ボーダレス：東アジアにおける近代仏教の諸相」『近代仏教』21、2014年8月、158-165頁。
- ・(書評)「赤江達也『紙上の教会』と日本近代」『宗教研究』88-2、2014年9月、243-249頁。
- ・(コメント)「佐藤厚氏の発表論文に対するコメント」『東アジア仏教学術論集』3、2015年2月、276-279頁。

## 塚田穂高 助教 宗教社会学、近現代日本の宗教運動

担当研究事業「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」／「國學院大學 国学研究プラットフォーム」の展開—明治期の国学・神道関係人物を中心に—

### [単行本]

- ・『宗教と政治の転軸点—保守合同と政教一致の宗教社会学—』花伝社、2015年3月。

### [論文]

- ・「大学におけるカルト問題教育の実践と学生の反応」『全国弁論通信』155号、2014年4月、40-55頁。

### [口頭発表]

- ・(講演)「『新新宗教』に蔓延する諸問題—現代日本の宗教状況から・伝統宗教の向き合い方—」曹洞宗北信越管区布教講習会、於シーユース雷音、2014年5月。
- ・「報告1『宗教と社会』全19号の概略」(テーマ・セッション「『宗教と社会』誌からみた「宗教と社会」学会の20年」)「宗教と社会」学会2014年度第22回学術大会、於天理大学、2014年6月。
- ・「コメント1」(ワークショップ「神の声を聴く—カオダイ教、道院、大本教の神託比較研究—」)京都大学人文科学研究所共同研究「日本宗教史像の再構築」第2回研究会、於京都大学、2014年6月。
- ・「霊術と国家観—三井甲之の手ひら療治—」(パネル「近代日本の修養・精神療法・新宗教における身体論と国家論」)日本宗教学会第73回学術大会、於同志社大学、2014年9月。
- ・「戦後政教問題の社会的構築過程と「宗教」概念—砂川市有地上神社問題の事例から—」第87回日本社会学会大会、於神戸大学、2014年11月。

### [その他]

- ・(書評)「三木英・櫻井義秀編著『日本に生きる移民たちの宗教生活—ニューカマーのもたらす宗教多元化—』」『現代社会学研究』27、2014年6月、129-132頁。
- ・(報告)「グローバル化の中の在るべき日本／宗教：幸福の科学の政治進出」(テーマセッション報告「グローバル化とアイデンティティ 第2回」)『宗教と社会』20、2014年6月、154-156頁。
- ・(書評)「櫻井義秀著『カルト問題と公共性—裁判・メディア・宗教研究はどう論じたか—』」『宗教研究』88-2、2014年9月、249-256頁。
- ・(用語解説)「註」島蘭進『宗教・いのち・国家—島蘭進対談集—』、平凡社、2014年10月、233-240頁。
- ・(鼎談)「宗教、宗教団体によるマンガの特徴は何か?」(井上順孝・藤井修平との鼎談)渡邊直樹責任編集『宗教と現代がわかる本2015』平凡社、2015年3月、142-155頁。

## 鈴木聡子 助教(特任) 神道史学

担当研究事業「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」

### [口頭発表]

- ・(講演)「神社の年中行事と地域社会」第40回日本文化を知る講座「見直される伝統宗教」、於國學院大學、2014年6月。
- ・(講演)「神社年中行事と日本文化」平成26年度千葉県女子神職会研修会、於千葉県神社庁、2014年6月。

### [その他]

- ・「下鴨神社と賀茂祭」主婦の友社編『聖地の入口—京都下鴨神社 式年遷宮の祈り—』主婦の友社、2014年12月、102-107頁。

## 李和珍 客員研究員 宗教社会学、日韓の新宗教教団の比較研究

担当研究事業「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」

### [その他]

- ・(翻訳)韓国語版『神道事典(縮刷版)』井上順孝編・李和珍訳、國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所、2015年2月。

- ・「旅客船『セウォル号』沈没事故の余波」『ラク便り』63、2014年8月、56-59頁。
- ・「教皇フランシスコの韓国訪問」『ラク便り』64、2014年11月、52-55頁。

## 市川 収 客員研究員 惑星物質科学

担当研究事業「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」

## カール・フレレ (FREIRE, Carl) 客員研究員 近代の日本史 (特に社会史・思想史)

担当研究事業「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」

- ・(翻訳)「Encyclopedia of Shintō: Chronological Supplement」、國學院大學デジタル・ミュージアム (<http://k-amc.kokugakuin.ac.jp/DM/pdfPreview/EOS+Chronological+Supplement.pdf>)、2014年9月、pp.1-191.

## 加藤 久子 PD研究員 政治と宗教

担当研究事業「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」

[単行本]

- ・『教皇ヨハネ・パウロ二世のことは——一九七九年、初めての祖国巡礼——』東洋書店、2014年12月。

[口頭発表]

- ・「ポーランド人にとってのアウシュヴィッツ強制収容所の記憶—歴史叙述や記憶に関する社会学的検討—」ロシア・東欧学会第43回学術大会、於岡山大学、2014年10月。

[その他]

- ・「教皇フランシスコ就任1年」『ラク便り』62、2014年5月、52-53頁。
- ・「資料紹介 河合博之駐ポーランド特命全権公使の改宗と客死(1933年)—『無原罪の聖母の騎士』誌より—」『國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所年報』7、2014年9月、58-66頁。
- ・「『イスラム国』をめぐる諸外国の反応」(藤井修平・光成歩・小林宏至と共著)『ラク便り』64、2014年11月、56-59頁。
- ・「『イスラム国』問題に向き合うヨーロッパ」『ラク便り』65、2015年2月、59-61頁。
- ・「観光と宗教」櫻井義秀・藤喜久子編『よくわかる宗教学』ミネルヴァ書房、2015年3月、194-195頁。
- ・「気になる人物の発言集・2014年の物故者」(村上晶と共著)渡邊直樹責任編集『宗教と現代がわかる本2015』平凡社、2015年3月、228-245頁。

## 齋藤 公太 研究補助員 宗教学、日本思想史

担当研究事業「[國學院大學 国学研究プラットフォーム]の展開—明治期の国学・神道関係人物を中心に—」

[論文]

- ・「神器と正統—閩齋学派の南朝正統論—」『日本思想史研究会会報』31、2015年1月、104-120頁。
- ・「垂加神道における『古事記』研究—神典解釈の問題を中心に—」『國學院大學研究開発推進機構紀要』7、2015年3月、99-130頁。

[口頭発表]

- ・「会沢正志斎における『神皇正統記』の受容」神道宗教学会第68回学術大会、於國學院大學、2014年12月。
- ・「米と日本人—神道思想史の視点から—」第3回飲食文化研究会、於國際基督教大学、2015年3月。

## 芹口 真結子 研究補助員 日本近世史・近世宗教史

担当研究事業「[國學院大學 国学研究プラットフォーム]の展開—明治期の国学・神道関係人物を中心に—」

[研究紹介]

近世真宗教団で発生した異安心（異端的教説）事件の際に作成された記録類や、幕藩領主の法令、地方寺院の史料等を活用し、教学論争が地域社会へ与えた影響や、宗教的正統と異端の歴史的展開について検討している。また、学僧による民衆教化活動に注目し、法話を記録した写本の調査・収集・分析を行い、近世期における民衆教化の内実の解明も進めている。今後は、僧侶だけでなく、民衆による宗教活動についても取り扱った上で、近世の人々の信仰がいかなる特質を有していたのか明らかにしたい。

このほか、近世近代移行期における仏教教団の変容過程を跡付けるために、明治初期の真宗僧侶による宗教行政への関与や、民衆教化活動等にも関心がある。

#### [論文]

- ・「清南寺〈蔵書〉の世界」『清内路 歴史と文化』4、2014年3月、39-52頁。
- ・「近世真宗教団と藩権力—19世紀初頭の異安心事件を事例に—」『史学雑誌』123-8、2014年8月、1471-1496頁。
- ・「異端と写本流通—羽州公巖異安心事件関係記録を中心に—」『書物・出版と社会変容』17、2014年10月、27-76頁。

#### [口頭発表]

- ・「異端と写本流通—羽州公巖異安心事件関係記録を中心に—」第89回「書物・出版と社会変容」研究会、於佐野書院、2014年5月。
- ・「仙台藩の施餓鬼供養と地域社会—弘化4年三陸沖大時化を事例に—」「近世の宗教と社会」研究会、於慶應義塾大学、2014年11月。
- ・「俗人の教化活動と教学統制—文化2年羽州久保田清次郎一件を中心に—」日本史研究会近世史部会、於機関紙会館、2014年12月。

#### [2013年度までの主な研究業績]

- ・「近世真宗における異端と「正統」」一橋大学大学院社会学研究科提出修士論文、2012年1月。
- ・「東本願寺再建と善勝寺門徒」『清内路 歴史と文化』2、2011年3月、117-126頁。

### 村上 晶 研究補助員 宗教社会学・シャーマニズム研究

担当研究事業「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」

#### [論文]

- ・「津軽地方の春祈禱にみる巫俗の現状」『哲学・思想論叢』33、2015年3月、1-16頁。

#### [口頭発表]

- ・「巫者の指示を実践に移すまで—津軽地方を事例として—」日本宗教学会第73回学術大会、於同志社大学、2014年9月。

#### [その他]

- ・「気になる人物の発言集・2014年の物故者」（加藤久子と共著）渡邊直樹責任編集『宗教と現代がわかる本2015』平凡社、2015年3月、228-245頁。
- ・（書評）「田中雅一・小池郁子編『コンタクト・ゾーンの人文学第Ⅲ巻：Religious Practices / 宗教実践』、『宗教と社会』20、2014年6月、105-109頁。

### イヴ・カドー (CADOT, Yves) 共同研究員 日本文化と武道

担当研究事業「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」

### ヤニス・ガイタニディス (GAITANIDIS, Ioannis) 共同研究員 医療人類学・宗教社会学・日本学

担当研究事業「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」

#### [論文]

- ・「『日本』をめぐるリベラル・アーツ教育の取組みとその意義—国際教育センター企画FD研修会（平成26年11月19日開催）の記録—」（小林聡子と共著）『国際教育』8、千葉大学国際教育センター、2015年3月、77-102頁。

#### 【口頭発表】

- ・「協働的論証における「コンテンツ」と「場」？「視点の初期設定」と日常的論証の再現？」（パネル「『日本』を題材とした協働学習の仕掛け」）第21回大学教育研究フォーラム、於京都大学、2015年3月。
- ・「Authority in the Discourse on Spirituality in Japan: The Transiency of a Sub-Discipline」 Authority in Asian Religions Workshop、於マンチェスター大学、2014年10月。
- ・「スピリチュアリティとプレカリティ？—経済とスピリチュアリティを結ぶ議論の二極化を超えて—」（テーマ・セッション「21世紀のスピリチュアリティ研究」）「宗教と社会」学会第22回学術大会、於天理大学、2014年6月。
- ・「『日本』を学ぶ—パズルとしての日本学—」（パネル「『日本』を語る、学ぶ、発信する—千葉大学国際教育センターにおける協働学習の仕掛けづくり—」）異文化間教育学会第35回大会、於同志社女子大学、2014年6月。

**イグナシオ・キロス** (QUIROS, Enrique Ignacio Luis) 共同研究員 上代の国学  
担当研究事業「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」

**市田雅崇** 共同研究員 民俗宗教研究  
担当研究事業「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」

**今井信治** 共同研究員 宗教社会学  
担当研究事業「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」

#### 【論文】

- ・『メディア空間における「場所」と「共同性」—オタク文化をめぐる宗教社会学的研究—』筑波大学博士（文学）学位請求論文、2015年3月。
- ・「魔法少女」の願い』江川純一・久保田浩編『「呪術」の呪縛（上巻）』リトン、2015年3月、389-415頁。

#### 【その他】

- ・「宗教がわかるBookガイド（2014年刊）」（相澤秀生・藤井修平・光成歩と共著）渡邊直樹責任編集『宗教と現代がわかる本2015』平凡社、2015年3月、274-283頁。

**小堀馨子** 共同研究員 古代ローマ宗教研究  
担当研究事業「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」

**野口生也** 共同研究員 宗教人類学、ペンテコスタリズム研究  
担当研究事業「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」

**藤井麻央** 共同研究員 宗教学、近代日本宗教史  
担当研究事業「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」

#### 【論文】

- ・「明治中期の宗教政策と神道教派—内務省訓令第九号の金光教への作用—」『國學院雑誌』115-7、2014年7月、57-71頁。

#### 【口頭発表】

- ・「明治二十年代の宗教政策と神道教派の教師養成システム—金光教の事例を中心に—」「宗教と社会」学

会第 22 回学術大会、於天理大学、2014 年 6 月。

- ・「明治末期の国家政策と金光教」日本宗教学会第 73 回学術大会、於同志社大学、2014 年 9 月。
- ・「[たすけ]の思いをカタチに—福島県いわき市における天理教有志の震災支援活動—」[宗教と社会貢献]研究会 2014 年度第 1 回研究会、於國學院大學、2014 年 7 月。
- ・「明治後期の教派神道—岡山県下の金光教と黒住教—」神道宗教学会第 68 回学術大会、於國學院大學、2014 年 12 月。

## 山梨有希子 共同研究員 宗教学

担当研究事業「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」

## 一戸渉 共同研究員 日本近世文学

担当研究事業「[國學院大學 国学研究プラットフォーム]の展開—明治期の国学・神道関係人物を中心に—」

## 小田真裕 共同研究員 日本近世史

担当研究事業「[國學院大學 国学研究プラットフォーム]の展開—明治期の国学・神道関係人物を中心に—」  
[口頭発表]

- ・「筑前気吹舎門人の幕末維新—神職宮崎元胤を中心に—」明治維新史学会第 44 回大会、於立正大学、2014 年 6 月。

[その他]

- ・(書評)「山本幸俊著『近世の村落と地域史料保存』」『新潟史学』72、2014 年 10 月、84-91 頁。

## ナカイ・ケイト (NAKAI,Kate W) 客員教授 日本思想史

担当研究事業「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」

## 土屋博 客員教授 宗教学

担当研究事業「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」

## 林淳 客員教授 日本宗教史

担当研究事業「[國學院大學 国学研究プラットフォーム]の展開—明治期の国学・神道関係人物を中心に—」

## 星野英紀 客員教授 宗教学

担当研究事業「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」

## 山中弘 客員教授 宗教社会学

担当研究事業「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」